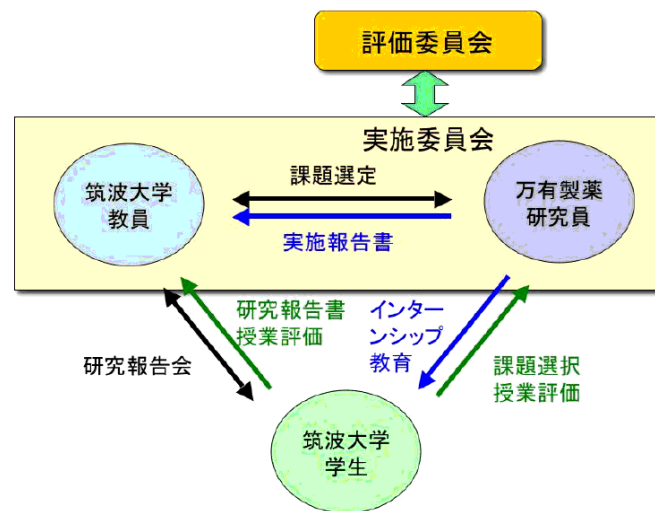
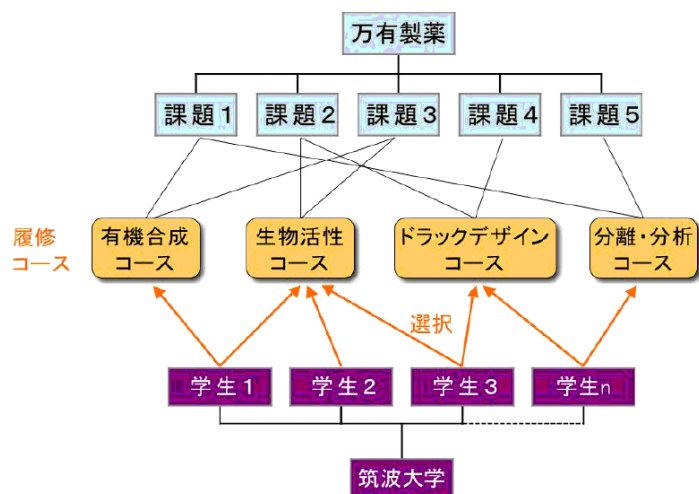




大学と企業とで育てる創薬化学高度人材

- 育成したい人物像:「創薬化学の最先端技術と企業論理を備えた高度専門人材」
- 現状の大学院化学教育では扱わないが、創薬化学企業における研究では必須である課題の実践的なトレーニングを実施
- 創薬化学の開発研究が概観できるよう、いくつかの課題を組み合わせた複数の履修コースを設定



平成 17 年度実施概要

平成 17 年 11 月 4 日 第 1 回講義

平成 17 年 11 月 8 日 第 2 回講義

平成 17 年 11 月 28 日 第 3 回講義

講師など：深見、大嶽、相良（万有製薬）、新井、山本、木越（筑波大）
学生に対する実施説明

一般的なインターンシップの意義、概要を実例を用いて講義するとともに、万有製薬株式会社の概要説明とインターンシップの実施要領を説明した。

平成 17 年 12 月 6 日～16 日 インターンシップ実施

参加学生：5 名

有機合成コース 2 名

ドラッグデザインコース 2 名

分離分析コース 1 名

参加希望学生を 3 コースに配属し、2 週間の実習を行った。

平成 17 年 12 月 27 日 第 1 回インターンシップ事後指導

平成 18 年 2 月 27 日 第 2 回インターンシップ事後指導

講師など：木越

インターンシップでの実習内容を報告するとともに、それらをまとめ発表するためのポスターを作製した。

平成 18 年 3 月 8 日 公開講演会「企業と大学の創薬研究」

講演 4 件

インターンシップ実験ポスター発表 3 件

参加者 40 名

企業と大学で行われている創薬関連研究の最先端に関わる講演を聴くとともに、インターンシップ実習のポスター発表を行った（ポスター参照）。

平成17年度文部科学省派遣型高度人材育成プログラム
大学と企業とで育てる創薬化学高度人材
企業と大学の創薬研究

平成18年3月8日(水) 13:00～17:10
筑波大学総合研究棟B棟 公開講義室(B0110)

- 13:00～13:10 油田信一 筑波大学副学長 挨拶
- 13:10～13:20 三明康郎 数理物質科学研究科副研究科長 挨拶
- 13:20～13:30 深見竹広 万有製薬株式会社つくば研究所化学
部長挨拶
- 13:30～14:30 繁森英幸 筑波大学大学院生命環境科学研究科助教授
「植物の生命現象解明のための基礎研究」
- 14:30～15:00 大嶽憲一 万有製薬株式会社つくば研究所主任研究員
「企業におけるメデイシナルケミストリー・高選択的
ムスカリンM3 受容体拮抗剤の創製研究を例として」
- 15:00～15:30 ポスター発表(今年度実施のインターンシップ実習)
- 15:30～16:00 木越英夫 筑波大学大学院数理物質科学研究科教授
「天然抗腫瘍性物質に関する生物有機化学的研究」
- 16:00～17:00 有本博一 東北大学大学院生命科学研究科教授
「バンコマイシン耐性の克服に向けた創薬研究」
- 17:00～17:10 新井達郎 数理物質科学研究科化学専攻長 挨拶

お問い合わせ先 数理物質科学研究科 教授 木越 英夫
Tel: 029-853-4313 E-mail:kigoshi@chem.tsukuba.ac.jp
(内線4313)